

ふくしま生き物調査発表会2017



福島大学の学生が、県内各地で行った生き物についての調査結果を分かりやすく発表していただきます。参加者の皆さんで調査結果を共有していただき、専門知識を持った若手の研究者と、県内で環境教育に携わる方々の交流を深めて頂きたいと考えています。

【日 時】平成29年 **10月1日(日)** 9:30~15:15 (予定)

【場 所】フォレストパークあだたら レクチャーホール

【参加費】500円 (軽食とコーヒー付き)

【定 員】40名

【対 象】福島県の生き物に興味がある方

【申 込】お電話にて

✂切り 平成29年9月29日(金)



昨年の発表の様子

9:00 受付開始 ※お車は第2駐車場へ

9:30 開会

9:40 福島大学の学生による発表

《午前の部》 1人20分程度 発表 4題

11:30 お昼 ~立食形式による交流会~

※学生さんへの質問や積極的な意見交換をしましょう!

12:30 福島大学の学生による発表

《午後の部》 1人20分程度 発表 4題

14:05 コーヒーブレイク <25分>

14:30 《教員の部》 兼子伸吾 准教授 (共生システム理工学類)

15:00 質疑・応答

15:15 終了

◎発表者と参加者の皆さんの距離を縮めることを目的に、お昼は立食式のディスカッションタイムとしています。発表を聞いて疑問に思ったことなど積極的に意見交換を行ってみてはいかがでしょうか。

主催：公益財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団

【お申し込み・お問い合わせ】 ふくしま県民の森フォレストパークあだたら

電話：0243-48-2040 (9時~17時) FAX：0243-68-2060

～ タイトル・発表者 ～

午前の部：9：40～11：30

20分/1人

- ◇アサマフウロやハナムグラは残っているか？ ～白河市白坂大池の植物相～
齋藤 佑樹（黒沢研究室） 9：40～10：00
- ◇ Bisetocreagris 属（カニムシ目：コケカニムシ科）の紡績腺の新たな観察方法
熊谷 大樹（塘研究室） 10：05～10：25
- ◇安定同位体比と消化管内容物を用いた酸性湖沼銅沼に生息する水生昆虫の食性解析
佐々木 信彰（塘研究室） 10：30～10：50
- ◇福島県内外の山岳域特異的に分布するアザミウマ Thrips sp.の遺伝的分化
鈴木 花苗（塘研究室） 10：55～11：15
- ◇午前中の部 質疑応答 11：15～11：30

≪昼食 11：30～12：30≫

午後の部：12：30～14：05

20分/1人

- ◇苧安が優占する半自然草原の生態学的研究
薄井 創太（黒沢研究室） 12：30～12：50
- ◇東日本大震災とその後の復旧事業が沿岸域の植生や植物相に与えた影響
曲淵 詩織（黒沢研究室） 12：55～13：15
- ◇絶滅危惧植物クマガイソウの繁殖 ～地下茎だけで増える？種でも増える？～
佐藤 なつき（兼子研究室） 13：20～13：40
- ◇原発事故被災地で増加した野生哺乳類の適正管理に向けた遺伝構造解析
～ミトコンドリア DNA を用いたイノシシ個体群の交雑解析～ 藤間理央（兼子研究室） 13：45～14：05

≪コーヒーブレイク 14：05～14：30≫

教員の部：14：30～

- ◇福島のイノシシはこれからも増えていくのか？ ～保全遺伝学が予見する二つの未来～
兼子伸吾 准教授（共生システム理工学類） 14：30～15：00
- ◇発表全体についての質疑・応答 15：00～15：15